



清 風 園

桐生川上流、梅田の里にひっそりと佇む割烹旅館「清風園」。都会の雑踏を離れ赴くと、桐生川の清らかな瀬音、木々の囁き、可憐に咲く野の花が四季それぞれの情趣で静かに迎えてくれる。

隠れ家的な一軒家で、季節毎に旬の地元食材を吟味した本格的な会席料理と、桐生川が望めるひのきのお風呂が贅沢なひとときを愉しませてくれる。

創業は昭和34年（1960）、藤生利八氏が林業を営みながら、うどんや鮎料理を提供する田舎料理屋として開業した。同58年（1983）に開催されたあかぎ国体を契機に、店舗を本格的な宿泊施設として改修した。現在の数寄屋造りの本館は、平成9年（1997）に建てられたもので、旅館自慢のひのき風呂もこの時に新設した。一般客室が6室、京風数寄屋客室が1室、京風数寄屋食事処が2室あり、宿泊は40名まで受け入れ可能となっている。

現在、旅館を切盛りするのは、二代目の藤生章三さんと女将の和代さん。料理長を務める三代目の篤史さんは、東京の料亭で10年間修業した後、故郷桐生に戻り、鮎会席をはじめとする四季折々の料理に腕を振るっている。

桐生の奥座敷で「四季を愛でる おもてなし」が、心の洗濯をしてくれる。



所在地 桐生市梅田町5-7652
代表者 藤生 章三